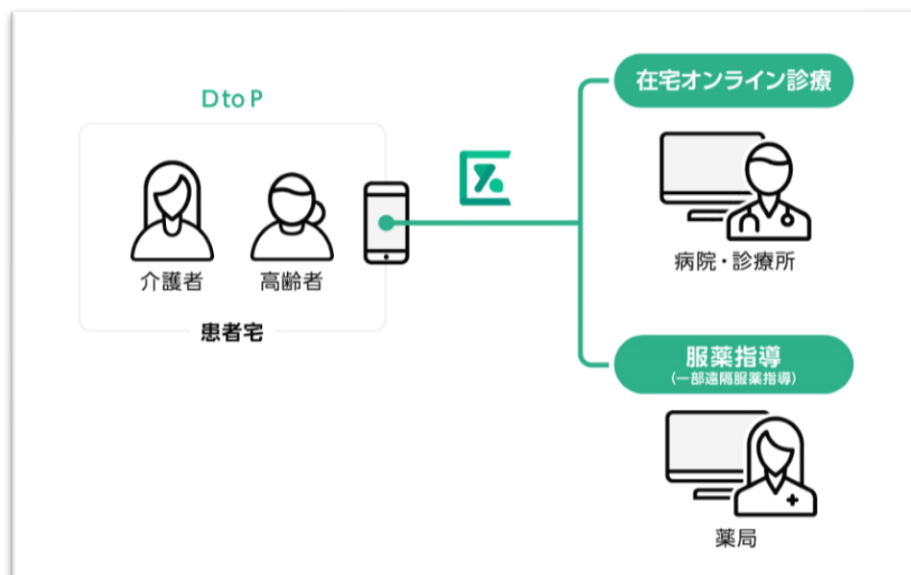


## オンライン診療の普及促進にむけた 総務省実証事業に参画

株式会社インテグリティ・ヘルスケア（本社：東京都中央区、代表取締役会長：武藤 真祐、代表取締役社長：園田 愛、以下「インテグリティ・ヘルスケア」）は、総務省が2018年度の実証事業として実施した「オンライン診療の普及促進に向けたモデル構築に係る調査研究」に4箇所のフィールドの1つとして参画し、福岡県福岡市および東京都の病院・診療所・薬局にて、インテグリティ・ヘルスケアが提供する疾患管理システム「YaDoc（ヤードック）」を活用して、主に在宅医療領域においてオンライン診療の普及に係る実証事業を実施しました。

### インテグリティ・ヘルスケアが実施したオンライン診療の流れ



オンライン診療は、2018年3月に厚生労働省が公表した「オンライン診療の適切な実施に関する指針」や2018年4月のオンライン診療に関する診療報酬の新設により、今後の普及が期待されています。こうした中、総務省は主に技術的な観点から、オンライン診療の安全かつ効果的な実施モデルを構築すべく「オンライン診療の普及に向けたモデル構築に係る調査研究」を2018年度の実証事業として開始しました。

インテグリティ・ヘルスケアは、2018年10月～2019年3月の期間、福岡県福岡市および東京都墨田区の医療機関の協力のもと、主に60代から90代までの在宅診療を受ける患者さん全21名を対象に、オンライン診療\*を実施し、患者さんの利便性向上およびオンライン診療の普及に係る課題抽出・検証を実施しました。

本実証事業におけるインテグリティ・ヘルスケアのフィールドでは、オンライン診療を実施するための基本的なプロセスとして、機器の導入、診療から処方、服薬指導（一部遠隔服薬指導を含む。）までの一連のフロー及び課題が整理されました。また、医師への事前アンケートの結果、最も懸念されていた「患者さんの端末操作に対する不安」に対し、インテグリティ・ヘルスケアが事前にオンライン診療に必要な設定を完了させた端末を患者さんへ貸与することで、オンライン診療開始の負担軽減を図りました。「YaDoc」へ血圧や症状などを記録した患者さんに対しては、医師が診療時に、記録された患者さんのデータや状況を踏まえて、具体的な指示や処置を行うことが出来ました。結果、実証事業終了後には参加した患者さんの過半数以上がオンライン診療を「継続して受けたい」と回答しました。

なお、本実証事業の結果につきましては、総務省のホームページにて、遠隔医療の普及促進に向けた取り組みとして公開されています。

インテグリティ・ヘルスケアは、2018年1月の「YaDoc」一般提供開始当初から、医療機関が安心してオンライン診療を患者さんに提供できる環境を整備すべく、医療機関側・患者さん側それぞれのサポートセンターを設置し、「YaDoc」を利用される皆様への支援体制に力を注いで参りました。本実証事業の結果をもとに、インテグリティ・ヘルスケアは「YaDoc」を導入する皆様の利便性をより一層高めるべく提供サービス内容の充実を図るとともに、引き続き日本の医療の質向上に貢献して参ります。

※：服薬特区内の該当患者さんへは遠隔服薬指導も実施

## 補足資料 1：当該事業概要

### ▼総務省実証事業概要

正式名称：「オンライン診療の普及促進に向けたモデル構築に係る調査研究」  
実施時期：2018年10月～2019年3月  
主 体：総務省  
内 容：オンライン診療の効率的な手順の明確化、地域で展開が可能な遠隔診療の実施参照モデルの構築  
U R L：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000620779.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000620779.pdf)

### ▼インテグリティ・ヘルスケア実証フィールド概要

実証フィールド：福岡県福岡市、東京都  
協力機関：医療法人すずらん会たろうクリニック（福岡県福岡市）  
医療法人貝塚病院（福岡県福岡市）  
医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック吾妻橋（東京都墨田区）  
Hyuga Pharmacy 株式会社 きらり薬局名島店（福岡県福岡市）  
株式会社ココカラファインヘルスケア ココカラファイン奈多店（福岡県福岡市）  
検証内容：診療から処方、服薬指導に至るまでの一連のプロセスのオンライン化による在宅療養患者の利便性向上の評価及び課題の抽出等

## 補足資料 2：サービス概要

サービス名：疾患管理システム「YaDoc（ヤードック）」  
提供開始日：2018年1月  
主な機能：全国の医療機関 1900 施設に導入し、医療相談や保健指導からオンラ



イン診療まで、予防・治療の補完システムとして利用

### <モニタリング>

利用者は目的に合わせて必要な項目を自分で管理して記録します。指導者（または医療者）は利用者の状態変化を捉えることができます。

### <オンライン問診>

目的ごとに設定される定型項目に沿って、指導者は利用者から事前に状態や疑問点などを漏れなく把握することができます。

### <オンライン診察/保健指導/医療相談>

予約時刻を目安に指導者から発信します。利用者のその時の状況に合わせて、表情や状態を見て指導を受けることができます。

U R L：<https://www.yadoc.jp/>

## 補足資料 3：代表者・会社概要

### 株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長 武藤 真祐



東大病院、三井記念病院にて循環器内科に従事後、宮内庁で待医を務める。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010年医療法人社団鉄祐会を設立。2015年シンガポールで Tetsuyu Healthcare Holdings Pte, Ltd. を設立。東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床教授。日本医療政策機構理事。一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ理事。東京大学医学部卒業(MD)。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了(Ph.D.)。INSEAD Executive MBA。Johns Hopkins MPH。

### 株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役社長 園田 愛



医療経営コンサルティングに従事後、株式会社リクルート事業開発室にてヘルスケア関連事業に携わり、2009年株式会社インテグリティ・ヘルスケア設立。同時に医療法人社団鉄祐会の設立に参画。2011年より東日本大震災の大規模復興事業を現地統括。2015年よりヘルステック事業を開始、現在に至る。東京医科歯科大学大学院修了。MBA。MMA。

## ▼会社概要

社 名 : 株式会社インテグリティ・ヘルスケア  
設 立 : 2009年10月  
代 表 者 : 代表取締役会長 武藤 真祐、代表取締役社長 園田 愛  
事 業 内 容 : テクノロジーを活用した医師の診療支援ソリューションの提供  
所 在 地 : 東京本社 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-27-5 YAMATO B.L.D  
東京サテライトオフィス 東京都中央区日本橋人形町 1-11-2 川商ビル 7階  
福岡オフィス 福岡市中央区天神 2-11-1 福岡 PARCO 新館 5階  
名古屋オフィス 名古屋市中区栄 2-2-23 アーク白川公園ビルディング 7階  
大阪オフィス 大阪市中央区南本町 2-3-12 EDGE 本町 3階  
仙台オフィス 仙台市青葉区中央 4-10-3 仙台キャピタルタワー 2階  
U R L : <https://www.integrity-healthcare.co.jp/>

### 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 広報担当  
Email : [pr@integrity-healthcare.co.jp](mailto:pr@integrity-healthcare.co.jp)